



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 三精テクノロジーズ株式会社
 コード番号 6357 URL <http://www.sansei-technologies.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 良知 昇
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山邊 隆義

TEL 06-6393-5621

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	45,077	14.6	2,871	33.5	2,889	32.6	1,420	48.3
2019年3月期	52,794	93.6	4,319	95.3	4,284	83.3	2,746	96.3

(注) 包括利益 2020年3月期 241百万円 (90.2%) 2019年3月期 2,449百万円 (49.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	76.95	76.25	4.7	4.3	6.4
2019年3月期	148.87	147.74	9.3	6.3	8.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 9百万円 2019年3月期 9百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	64,979	30,116	46.0	1,619.85
2019年3月期	69,188	30,481	43.9	1,645.77

(参考) 自己資本 2020年3月期 29,912百万円 2019年3月期 30,367百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	4,231	1,069	1,759	10,535
2019年3月期	2,647	2,004	1,872	9,311

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		17.50		17.50	35.00	645	23.5	2.2
2020年3月期		17.50		17.50	35.00	646	45.5	2.1
2021年3月期(予想)								

(注)2021年3月期(予想)の第2四半期及び期末配当金につきましては未定としております。なお、配当予想額は開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、現段階で合理的な業績予想の算定を行うことが困難なことから、未定としております。今後、合理的な予想が可能となった段階で速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	19,332,057 株	2019年3月期	19,332,057 株
期末自己株式数	2020年3月期	865,608 株	2019年3月期	880,197 株
期中平均株式数	2020年3月期	18,460,146 株	2019年3月期	18,446,345 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	19,444	4.4	728	90.5	1,989	40.5	1,573	26.1
2019年3月期	20,348	27.3	382	6.5	1,416	40.8	1,247	51.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	85.23	84.45
2019年3月期	67.61	67.10

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	45,936	22,187	48.0	1,193.74
2019年3月期	46,712	21,494	45.8	1,158.72

(参考) 自己資本 2020年3月期 22,044百万円 2019年3月期 21,380百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、現段階で合理的な業績予想の算定を行うことが困難なことから、未定としております。

今後、合理的な予想が可能となった段階で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の経済情勢は、長引く米中貿易摩擦問題や中国経済の停滞、消費税引上げ実施などから先行きに不透明感が増していたところに、新型コロナウイルス感染が急速に拡がり、世界経済は深刻な影響を受ける状況となりました。

このような環境下、当社グループの当連結会計年度の業績計画につきましては、遊戯機械や舞台設備などの大型案件の完工が前期比では減少することや、中国の景気減速や米国東部の気候不順の影響などによるパーク建設工事の遅延などを織り込み、減収減益とした上で（注）業績向上に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は45,077百万円（前期比14.6%減、計画比9.8%減）、営業利益は2,871百万円（前期比33.5%減、計画比13.0%減）、経常利益は2,889百万円（前期比32.6%減、計画比9.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,420百万円（前期比48.3%減、計画比13.6%増）と減収減益となりましたが、親会社に帰属する当期純利益では期初計画を上回ることができました。

（注）2020年3月期業績計画（単位 百万円）

売上高 50,000、営業利益 3,300、経常利益3,200、 ※当期純利益1,250
※親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別の業績は以下のとおりであります

（売上高は、セグメント間の内部売上を含んでおりません）

なお、当連結会計年度より、当社グループの事業内容に合わせ、報告セグメントの区分方法を見直しております。

当社グループは従来「製品製造関連」、「保守改修関連」を報告セグメントとしておりましたが、当連結会計年度より報告セグメントを「遊戯機械」、「舞台設備」、「昇降機」に区分して記載する方法に変更しております。これに伴い、従来「保守改修関連」に区分・記載しておりました保守改修関連事業を「遊戯機械」、「舞台設備」、「昇降機」の各報告セグメントに含めて記載しております

遊戯機械

前期は内外で多数の大型案件の売上が順調でしたが、当期は大型案件の売上が減少したこと、中国・米国で主要な案件の受注・着工・建設等について進捗が遅れがみられ採算も悪化したこと、またユーロ・米ドルがともに円高に推移したことなどから、売上高は23,464百万円（前期比24.2%減）、セグメント利益は125百万円（同90.3%減）と減収減益となりました。

舞台設備

前期は大規模公共ホール新設案件の順調な仕上りや大規模コンサートの活況などにより売上は好調でしたが、当期は大規模コンサートの減少や新規受注した大型機構案件の売上寄与が翌期にまたがることなどもあって、売上高は16,386百万円（前期比2.1%減）と減収となりました。一方、セグメント利益は新設・改修案件などで一定の利益を確保できたことから3,440百万円（同5.8%増）と増益となりました。

昇降機

ダム用等大口特殊仕様の工事が一巡したことなどにより、当期は採算の厳しい住宅用案件の工事が中心となったことから、売上高は5,143百万円（前期比2.4%増）と増収となったものの、セグメント利益は808百万円（同28.6%減）と減益となりました。

その他

売上高は83百万円（前期比4.7%減）、セグメント利益は10百万円（同30.6%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,477百万円減少し、36,329百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,224百万円増加したこと、原材料及び貯蔵品が684百万円増加したのに対し、売上減少に伴い売上債権が3,642百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,731百万円減少し、28,649百万円となりました。これは主に、無形固定資産が償却の進捗等により2,628百万円減少したことなどによります。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,335百万円減少し、18,372百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が1,018百万円増加したこと、工事損失引当金が266百万円増加したことに対し、支払手形及び買掛金が1,436百万円減少したこと、前受金が1,666百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2,507百万円減少し、16,490百万円となりました。これは主に、国内で長期借入金の返済が進んだことなどによります。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べ365百万円減少し、30,116百万円となりました。これは主に、利益剰余金が774百万円増加したのに対し、その他有価証券評価差額金が265百万円減少したこと、為替換算調整勘定が941百万円減少したことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,224百万円増加し10,535百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べて1,584百万円増加し4,231百万円となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益2,602百万円、減価償却費1,703百万円、売上債権の減少3,299百万円等であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額1,623百万円、前受金の減少1,432百万円、仕入債務の減少1,375百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べて934百万円減少し1,069百万円となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による962百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べて113百万円減少し1,759百万円となりました。収入の主な内訳は、短期借入金の純増による208百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による1,276百万円、配当金の支払いによる645百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	71.7	68.1	42.9	43.9	46.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	29.7	47.7	33.4	40.9	16.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	139.7	43.3	—	691.8	408.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	64.7	464.3	—	14.6	17.8

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュフロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

※2018年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率およびインタレスト・カバレッジ・レシオについては営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を2019年3月期の期首から適用しており、2018年3月期に係る自己資本比率及び時価ベースの自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

(4) 今後の見通し

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が当社事業に与える影響を現時点で算定することは困難なため、未定といたします。

今後、連結業績予想が算定可能になった時点で、速やかに公表いたします。

配当予定につきましても、同様の事情から現時点では未定といたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準を適用しております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,344,718	10,568,802
受取手形及び売掛金	24,539,795	20,721,996
電子記録債権	139,689	315,129
有価証券	-	100,580
仕掛品	771,257	675,265
原材料及び貯蔵品	1,721,155	2,405,385
その他	1,392,468	1,655,752
貸倒引当金	△102,057	△113,052
流動資産合計	37,807,027	36,329,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,388,129	7,658,659
減価償却累計額	△2,109,139	△2,336,022
建物及び構築物（純額）	5,278,990	5,322,637
機械装置及び運搬具	3,720,322	3,970,283
減価償却累計額	△2,933,571	△3,121,739
機械装置及び運搬具（純額）	786,751	848,543
土地	4,227,306	4,332,688
建設仮勘定	29,269	109,125
その他	1,230,697	1,510,380
減価償却累計額	△881,782	△1,020,350
その他（純額）	348,915	490,029
有形固定資産合計	10,671,232	11,103,024
無形固定資産		
のれん	10,429,637	8,941,646
その他	3,669,158	2,529,137
無形固定資産合計	14,098,796	11,470,784
投資その他の資産		
投資有価証券	5,103,377	4,529,244
長期貸付金	33,617	42,286
繰延税金資産	539,053	607,647
その他	936,602	897,883
貸倒引当金	△1,645	△1,251
投資その他の資産合計	6,611,005	6,075,811
固定資産合計	31,381,034	28,649,620
資産合計	69,188,062	64,979,481

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,365,794	2,929,550
短期借入金	1,248,975	1,440,451
1年内返済予定の長期借入金	1,276,008	2,294,470
未払法人税等	684,373	480,347
未払消費税等	165,696	402,986
前受金	7,991,272	6,324,759
賞与引当金	506,526	577,614
役員賞与引当金	34,750	36,750
工事損失引当金	1,179,676	1,446,109
その他	2,254,855	2,439,358
流動負債合計	19,707,928	18,372,398
固定負債		
長期借入金	15,783,974	13,474,703
繰延税金負債	1,099,141	741,066
退職給付に係る負債	2,072,009	2,199,631
その他	43,368	75,238
固定負債合計	18,998,494	16,490,640
負債合計	38,706,423	34,863,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,251,279	3,251,279
資本剰余金	2,429,502	2,432,895
利益剰余金	23,359,730	24,134,456
自己株式	△443,285	△435,953
株主資本合計	28,597,227	29,382,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,394,967	1,129,444
繰延ヘッジ損益	8,793	△1,130
為替換算調整勘定	362,070	△579,437
退職給付に係る調整累計額	4,390	△18,652
その他の包括利益累計額合計	1,770,222	530,224
新株予約権	114,189	142,939
非支配株主持分	-	60,600
純資産合計	30,481,639	30,116,442
負債純資産合計	69,188,062	64,979,481

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	52,794,828	45,077,568
売上原価	39,365,443	32,997,685
売上総利益	13,429,384	12,079,882
販売費及び一般管理費	9,109,844	9,207,969
営業利益	4,319,540	2,871,913
営業外収益		
受取利息	4,033	5,654
受取配当金	95,515	120,534
保険配当金	47,806	118,859
受取賃貸料	26,212	37,296
その他	23,560	15,012
営業外収益合計	197,128	297,357
営業外費用		
支払利息	201,366	243,018
支払手数料	5,313	5,382
為替差損	7,091	19,494
持分法による投資損失	9,043	9,381
その他	9,533	2,395
営業外費用合計	232,347	279,672
経常利益	4,284,320	2,889,598
特別利益		
固定資産売却益	7,742	3,538
投資有価証券売却益	3,482	900
特別利益合計	11,224	4,438
特別損失		
固定資産廃棄損	-	21,896
投資有価証券評価損	-	94,470
減損損失	-	175,322
特別損失合計	-	291,690
税金等調整前当期純利益	4,295,545	2,602,347
法人税、住民税及び事業税	1,383,675	1,364,910
法人税等調整額	165,754	△243,690
法人税等合計	1,549,429	1,121,219
当期純利益	2,746,115	1,481,127
非支配株主に帰属する当期純利益	-	60,600
親会社株主に帰属する当期純利益	2,746,115	1,420,527

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	2,746,115	1,481,127
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,115	△265,523
繰延ヘッジ損益	△16,866	△9,924
為替換算調整勘定	△287,305	△941,507
退職給付に係る調整額	5,226	△23,043
その他の包括利益合計	△296,830	△1,239,998
包括利益	2,449,285	241,129
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,449,285	180,529
非支配株主に係る包括利益	-	60,600

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		
当期首残高	3,251,279	2,424,117	21,212,707	△462,855		26,425,248
会計方針の変更による累積的影響額						-
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,251,279	2,424,117	21,212,707	△462,855		26,425,248
当期変動額						
剰余金の配当			△599,092			△599,092
親会社株主に帰属する当期純利益			2,746,115			2,746,115
自己株式の取得				△801		△801
自己株式の処分		5,385		20,371		25,756
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	-	5,385	2,147,023	19,570		2,171,978
当期末残高	3,251,279	2,429,502	23,359,730	△443,285		28,597,227

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,392,852	25,660	649,376	△835	2,067,053	100,101	-	28,592,403
会計方針の変更による累積的影響額								-
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,392,852	25,660	649,376	△835	2,067,053	100,101	-	28,592,403
当期変動額								
剰余金の配当								△599,092
親会社株主に帰属する当期純利益								2,746,115
自己株式の取得								△801
自己株式の処分								25,756
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,115	△16,866	△287,305	5,226	△296,830	14,087	-	△282,742
当期変動額合計	2,115	△16,866	△287,305	5,226	△296,830	14,087	-	1,889,235
当期末残高	1,394,967	8,793	362,070	4,390	1,770,222	114,189	-	30,481,639

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,251,279	2,429,502	23,359,730	△443,285	28,597,227
会計方針の変更による累積的影響額			149		149
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,251,279	2,429,502	23,359,880	△443,285	28,597,376
当期変動額					
剰余金の配当			△645,951		△645,951
親会社株主に帰属する当期純利益			1,420,527		1,420,527
自己株式の取得				△77	△77
自己株式の処分		3,393		7,408	10,802
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	3,393	774,576	7,331	785,301
当期末残高	3,251,279	2,432,895	24,134,456	△435,953	29,382,678

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,394,967	8,793	362,070	4,390	1,770,222	114,189	-	30,481,639
会計方針の変更による累積的影響額								149
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,394,967	8,793	362,070	4,390	1,770,222	114,189	-	30,481,788
当期変動額								
剰余金の配当								△645,951
親会社株主に帰属する当期純利益								1,420,527
自己株式の取得								△77
自己株式の処分								10,802
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△265,523	△9,924	△941,507	△23,043	△1,239,998	28,750	60,600	△1,150,648
当期変動額合計	△265,523	△9,924	△941,507	△23,043	△1,239,998	28,750	60,600	△365,346
当期末残高	1,129,444	△1,130	△579,437	△18,652	530,224	142,939	60,600	30,116,442

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,295,545	2,602,347
減価償却費	1,673,752	1,703,688
のれん償却額	796,746	756,406
減損損失	-	175,322
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,893	71,087
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	74,884	303,710
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	90,260	94,419
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,750	2,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	79,458	13,469
受取利息及び受取配当金	△99,549	△126,189
支払利息	201,366	243,018
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,482	△900
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	94,470
固定資産売却損益 (△は益)	△7,742	△3,538
固定資産廃棄損	-	21,896
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,934,229	3,299,393
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△36,983	△650,178
仕入債務の増減額 (△は減少)	835,747	△1,375,202
前受金の増減額 (△は減少)	2,674,149	△1,432,244
未払消費税等の増減額 (△は減少)	20,231	237,290
未収消費税等の増減額 (△は増加)	36,669	87,698
持分法による投資損益 (△は益)	9,043	9,522
その他の資産の増減額 (△は増加)	2,460,441	△306,636
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,235,877	116,859
その他	36,815	35,437
小計	3,995,890	5,973,148
利息及び配当金の受取額	100,192	119,553
利息の支払額	△181,711	△237,255
法人税等の支払額	△1,266,753	△1,623,561
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,647,618	4,231,885

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	10,000	10,000
有価証券の売却及び償還による収入	230,000	-
投資有価証券の取得による支出	△1,290,225	-
投資有価証券の売却及び償還による収入	23,096	1,527
有形固定資産の取得による支出	△976,928	△962,846
有形固定資産の売却による収入	13,507	29,844
無形固定資産の取得による支出	△54,531	△123,403
貸付けによる支出	△11,470	△42,594
貸付金の回収による収入	16,331	13,290
その他	46,127	14,502
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,004,093	△1,069,679
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,052,450	208,126
長期借入れによる収入	1,110,200	-
長期借入金の返済による支出	△1,326,008	△1,276,008
リース債務の返済による支出	△4,451	△45,205
ストックオプションの行使による収入	40	14
自己株式の取得による支出	△801	△77
配当金の支払額	△598,731	△645,865
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,872,201	△1,759,015
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43,307	△179,106
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,271,983	1,224,084
現金及び現金同等物の期首残高	10,583,494	9,311,511
現金及び現金同等物の期末残高	9,311,511	10,535,595

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当連結会計年度より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を当連結会計年度の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当連結会計年度における連結貸借対照表は、「有形固定資産」が73,234千円増加し、流動負債の「その他」が33,307千円及び固定負債の「その他」が40,004千円増加しております。

当連結会計年度の連結損益計算書及び1株当たり情報に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の事業は、遊戯機械・舞台設備・昇降機の3事業部門において、設計から保守改修に至るまで一貫した運営・管理体制としており、財務情報に基づく報告セグメントもそれら事業本部ごとに区分しています。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

当社は、遊戯機械・舞台設備・昇降機の3事業部門において、多様な製品の設計・製造・施工を行っています。また納入した製品の保守及び改修工事等のサービスを提供しております。

(3) 報告セグメントの変更に関する事項

当連結会計年度より、当社グループの事業内容に合わせ、報告セグメントの区分方法を見直しております。

当社グループは従来「製品製造関連」、「保守改修関連」を報告セグメントとしておりましたが、当連結会計年度より報告セグメントを「遊戯機械」、「舞台設備」、「昇降機」に区分して記載する方法に変更しております。これに伴い、従来「保守改修関連」に区分・記載しておりました保守改修関連事業を「遊戯機械」、「舞台設備」、「昇降機」の各報告セグメントに含めて記載しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、「3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報」の前連結会計年度に記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	遊戯機械	舞台設備	昇降機	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	30,942,088	16,740,105	5,025,394	52,707,588	87,239	52,794,828	—	52,794,828
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,493	—	—	4,493	720	5,213	△5,213	—
計	30,946,582	16,740,105	5,025,394	52,712,082	87,959	52,800,042	△5,213	52,794,828
セグメント利益	1,289,351	3,251,614	1,131,666	5,672,632	15,127	5,687,760	△1,368,219	4,319,540
セグメント資産	38,172,085	15,692,676	3,192,041	57,056,802	639,028	57,695,831	11,492,231	69,188,062
その他の項目								
減価償却費	1,276,918	279,633	55,568	1,612,121	5,847	1,617,968	55,783	1,673,752
のれんの 償却額	680,453	116,293	—	796,746	—	796,746	—	796,746
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	747,170	198,562	12,654	958,387	—	958,387	38,630	997,018

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業及びレジャー・サービス業であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 全社資産の主なものは、提出会社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	遊戯機械	舞台設備	昇降機	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	23,464,306	16,386,403	5,143,690	44,994,400	83,168	45,077,568	—	45,077,568
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,840	—	—	2,840	720	3,560	△3,560	—
計	23,467,146	16,386,403	5,143,690	44,997,240	83,888	45,081,129	△3,560	45,077,568
セグメント利益	125,093	3,440,350	808,269	4,373,713	10,497	4,384,211	△1,512,297	2,871,913
セグメント資産	34,125,569	13,775,897	3,111,504	51,012,971	621,459	51,634,430	13,345,050	64,979,481
その他の項目								
減価償却費	1,287,398	299,879	50,257	1,637,535	5,550	1,643,085	60,602	1,703,688
のれんの 償却額	640,113	116,293	—	756,406	—	756,406	—	756,406
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	350,820	698,523	34,951	1,084,295	—	1,084,295	87,025	1,171,321

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業及びレジャー・サービス業であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 全社資産の主なものは、提出会社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,645円77銭	1,619円85銭
1株当たり当期純利益	148円87銭	76円95銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	147円74銭	76円25銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,746,115	1,420,527
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	2,746,115	1,420,527
普通株式の期中平均株式数(株)	18,446,345	18,460,146
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	141,707	169,395
(うち新株予約権(株))	(141,707)	(169,395)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式 の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。